

PICK UP!!

# お 職員の推し本

## 転生したらスライムだった件 1

伏瀬(ふせ) / マイクロマガジン社



普通のサラリーマン三上悟。ある日通り魔に刺され、気がついたら異世界に転生していた…！それも、スライムとして！！

2013年から、小説投稿サイト『小説家になろう！』で連載開始。「平凡な主人公が異世界に転生し、能力を得て無双する」という異世界転生もののセオリーを覆し、一風変わったファンタジー世界を描き出しました。この話の魅力の一つは“国づくり”だと思います。スライムながら、人間と魔物が争わずに暮らせる国を目指し、仲間を増やしながらも孤軍奮闘！少しずつ広がる世界と創り込まれた設定を、一緒に楽しんでみませんか？

## 読書は鼻歌くらいでちょうどいい

大島 梢絵 / 辰巳出版

皆さんは読書する時、始めから終わりまできちんと読まない気が済まないほうでしょうか？

私は正にそれで、目次から最後のあとがきまできちんと読む性分です。なので、内容によってはたまに読むのを諦めてしまう場合もあります。

この本では、読書は「無理に1冊読みきらなくていい」「好きな場所から読めばいい」など本の読み方について書かれています。『読書は読みたい部分、気になる部分から読んでいいんだ〜』、と思わせてくれる1冊です。タイトルの通り、「鼻歌を歌う」ような感じで様々な本を気軽に読んで読書をお楽しみ下さい。



## はたらく本屋

吉田 亮人 写真・矢萩 多聞 文 / 創元社

子どもからお年寄りまで、地域の人たちに長年愛されている町の本屋さんの一日を綴った絵本。

お店の中には所狭しと本が並んでいて、レジの前まで物がいっぱい。「昔ながらの町の本屋さん」でイメージするような本屋さんです。

モノクロ写真にゆったりとした文章から、お店の温かみを感じます。ふらっと立ち寄ったら、時間を忘れて何時間でも過ごしてしまいそうです。

電子書籍が普及し、ネット通販で本を買ってしまう時代ですが、こんな素敵な本屋さんがどこの町にもあるといいな〜なんて思います。

